Panasonic

給気清浄フィルターユニット　工事説明書

品番	FY-BFG042CL　　FY-BFG062CL

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
　また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。

⚠注意

禁止

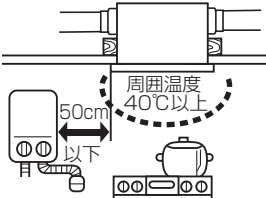
炎があたるおそれのある場所には取り付けない
プラスチック部品が変形したり着火して火災となるおそれがあります。

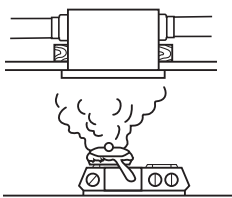
部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

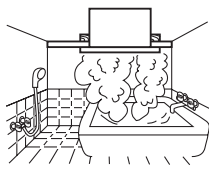
本体は指定の方法で確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをするおそれがあります。

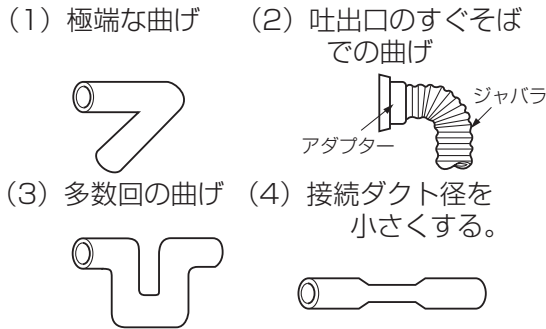
お願い

■高温(40℃以上)になる場所で使わないでください。

製品の変形やルーバーなどの破損の原因になります。

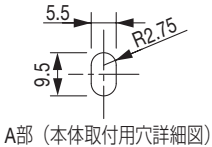
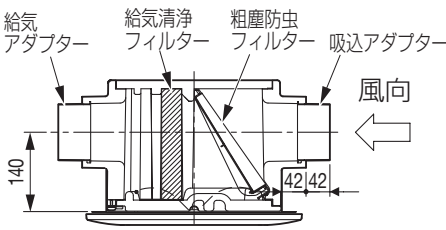
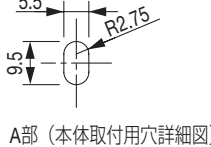
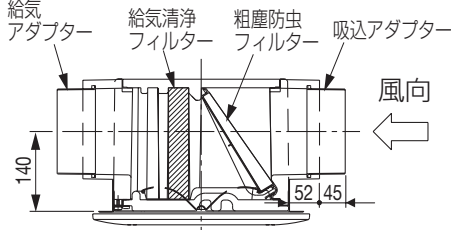
■台所など、油煙の発生する場所では使わないでください。

ルーバーなどの破損の原因になります。

■浴室など湿気の多い場所で使わないでください。

さびの原因になります。

■次のような配管工事はしないでください。
（1）極端な曲げ　（2）吐出口のすぐそばでの曲げ

（3）多数回の曲げ　（4）接続ダクト径を小さくする。

各部の名前と寸法

お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

単位：㎜

■FY-BFG042CL

■FY-BFG062CL

付属品　末尾の数字は数量をあらわします。

品名	数量
吊り金具	2
ねじ（長）（本体枠取り付け用）	4
ねじ（短）（吊り金具取り付け用）	4
取扱説明書（必ずお客様にお渡しください）	1

接続ダクト（チューブ）

呼び径	φ100	FY-BFG042CL
	φ150	FY-BFG062CL

取り付けのために準備いただくもの

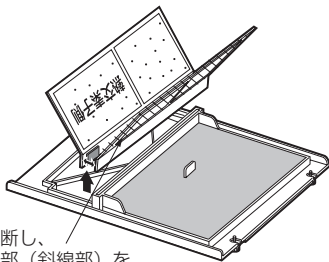
約30mm角材（1寸角）(野縁を利用して取り付けるとき)
M8~M10 吊りボルト
M8~M10 ナット
呼び8~10 ワッシャー
（吊りボルトを利用して取り付けるとき）
アルミテープ
ソフトテープ

給気清浄フィルターユニットを熱交換気ユニットの外気取り入れ（OA）側に取り付けて使用の場合は、風量低下防止のため下記の方法で熱交換気ユニット内の外気取り入れ（OA）側のフィルターをはずしてください。

機種品番：
FY-16KB5A
FY-18KB5A

そのままはずす

詳細は各熱交換気ユニットの取扱説明書を参照ください。

機種品番：
FY-10KB3A

施工方法　以下の手順にしたがって施工してください。

1-A 本体枠の取り付け（野縁利用の場合）

①木枠を作り、野縁に取り付ける。

内　寸	□320
木　枠	約30mm角材（1寸角）

■木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。

②ツマミねじ（4個）をゆるめ、固定レバー（4個）を矢印の方向に90°回す。

③ケースカバーの取っ手を持ち、本体ケースよりはずす。

④給気清浄フィルターと粗塵防虫フィルターをはずす。

<給気清浄フィルター>
そのまま下に引き出す。

<粗塵防虫フィルター>
a. 粗塵防虫フィルターのツマミを押し、矢印の方向へたおす。
b. 取っ手を持ち、ゆっくりと下方に引き出す。

給気清浄フィルター

⑤アダプター（2個）を本体ケースより内側にはずす。

■ねじ（4個）をはずし、アダプターの段差部を支点として、矢印方向にずらして本体ケースよりはずす。

ねじをはずす

⑥本体枠を木枠に挿入し、付属のねじ（長）（4個）で取り付ける。

■風向（本体ケース内側刻印）を間違えないようにしてください。

⑦アダプター（2個）を元通り本体ケースに取り付ける。

■外気吸込側と室内給気側を間違えないように元通り取り付けてください。

⑧給気清浄フィルターと粗塵防虫フィルターを取り付ける。

はずしかたの逆の順序で取り付けてください。

➡2へ

1-B 本体枠の取り付け（吊りボルト利用の場合）

①付属の吊り金具（2個）を付属のねじ（短）（4個）で取り付ける。

②本体枠を吊りボルト（M8～M10）に取り付ける。

■風向（ケースカバー表面に刻印）を間違えないようにしてください。

■吊り金具取り付け位置

単位：㎜

103
370
33
R6
12
B
B部
（吊り金具詳細図）

➡2へ

2 ダクトの接続と天井材の貼り付け

①ダクトをアダプターに差し込み、アルミテープ（市販品）で確実に密閉した後、結露防止のためその上からソフトテープ（別売品FY-RHS01）を3回以上巻いてアダプターの根元まで断熱する。

■風漏れや水濡れの原因になります。

■ダクトは本体ケースに力がかからないようにしてください。

②天井材をフランジと2～5mmのすき間を設けて貼り付ける。

すき間がないと製品のメンテナンスができません。

■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。（勾配1/100～1/50）
雨水浸入の原因となります。

➡3へ

3 ルーバーの取り付け

ルーバーのばねをせばめて、ルーバー止め穴に差し込んで固定する。

ご参考

天井材を貼った後、本体枠を取り付ける設置方法について

（可とう性のないダクトはできません。）

●あらかじめ天井内にダクトを設置し、ダクトの長さはアダプター接続部より20～30cm長めにしてください。

①本体枠を野縁に取り付ける。
②ダクトを室内側に引き出した状態でアダプターとダクトを接続する。
③ダクトを天井内に押し込んでアダプターを本体ケースに取り付ける。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
TEL(0568)81-1511

BFG424510 CL-P0813-0